

平成22年度第4回（第16回）磯辺地区学校適正配置地元代表協議会 議事要旨

1 日 時 平成22年11月15日（月） 10時～12時

2 場 所 磯辺地域ルーム（磯辺第一中学校内）

3 出席者

- (1) 委 員 21人
欠席3人：水谷委員、今井委員、木村委員
- (2) 事務局 高須課長、古舘主幹、伊藤補佐、加茂主査、安井主査補
- (3) 傍聴者 21人

4 議題

- (1) シミュレーション4について
- (2) 小中学校の統合の順序・時期・場所について
- (3) 次回開催日時・場所について

5 会議資料

- (1) 次第と席次表
- (2) 資料1 平成22年度に算出した推計による磯辺地区の小・中学校の状況＜前回資料＞
- (3) 資料2 統合の順序等を考える際の論点＜前回資料＞
- (4) 資料3 教職員配置シミュレーション＜前回資料＞
- (5) 資料4 磯辺地区の通学距離シミュレーション
- (6) 資料5 磯辺地区の小・中学校の校舎等の状況
- (7) 前回議事要旨

6 会議の概要

- (1) シミュレーション4について
シミュレーション4（磯辺一小・磯辺二小・磯辺四小）を小学校統合の組み合わせとして決定するかどうかを協議し、磯辺二小を除き同意を得た。磯辺二小の父母と先生の会代表からは、保護者へのアンケートの結果、すぐに統合を進めることに賛成の意見が少なく、様子を見ていきたいという報告があった。そこで、磯辺二小についてはシミュレーション4のパターン1のC校の扱いとするか単独で残るのかを持ち帰って話し合い、その結果を次回協議会で報告することになった。
- (2) 小中学校の統合の順序・時期・場所について
小中学校の統合の順序・時期・場所については、時間の関係上、次回の協議会に持ち越すことになった。
- (3) 次回開催日時・場所について
次回は平成23年1月17日（月）午前10時から12時まで、磯辺地域ルームで開催することとした。

7 発言要旨

(1) 会長挨拶

本年度4回目の協議会となった。真剣に協議していただき、少しずつ進んでいる。あとは統合の位置、場所であり、通学距離が焦点となるだろう。ともあれ学校の質が大切であり、親のためではなく、子どもたちのためにという視点で話し合いをお願いしたい。

(2) 資料説明

資料4「磯辺地区の通学距離シミュレーション」 資料5「磯辺地区の小・中学校の校舎等の状況」

<鳥越議長>

まず事務局に資料の説明をお願いします。

<事務局>

この2つの資料は、前回の協議会で求められたものである。簡単に説明していきたい。

○資料4をもとに、各小・中学校の通学距離シミュレーションについて説明

- ・P1：磯辺四小を統合場所とした場合、通学距離が最大どのくらいになるかを示している。
- ・P2：磯辺二小を統合場所とした場合、通学距離が最大どのくらいになるかを示している。
- ・P3：磯辺一小を統合場所とした場合、通学距離が最大どのくらいになるかを示している。
- ・P4上段：磯辺一中を統合場所とした場合、通学距離が最大どのくらいになるかを示している。
- ・P4下段：磯辺二中を統合場所とした場合、通学距離が最大どのくらいになるかを示している。

○資料5をもとに、磯辺地区の小・中学校の校舎等の状況について説明

- ・耐震補強が必要なのは、Is値0.6未満の校舎である。
- ・シミュレーション4を前提にした場合、磯辺一小・二小・四小のどこを統合場所にしても普通教室数は足りる。また、磯辺一中を小学校にした場合も同様である。

<鳥越議長>

この件について、ご質問はあるか。

<村上委員>

資料5の各学校の耐震補強の時期について、いつ頃行うのか教えていただきたい。

<事務局>

千葉市では全小中学校の耐震補強を27年度までに終える計画で進めている。

<橋爪委員>

前回出された意見の中で磯辺一中を小学校の統合場所にする意見があったが、資料4には磯辺一中を統合場所とした場合の通学距離のシミュレーションがない。小学校は既存の小学校用地の中で決めていくということか。また、磯辺二中区から磯辺一中への通学距離シミュレーションの資料で、磯辺二中区の端はグランスイートあたりからとなっているが、今現在はブリリアのあたりまでになると思うが。

<事務局>

今回出した資料は、あくまでも現状の小中学校の客観的データとして作成したものであり、磯辺一中を小学校の統合場所としたシミュレーションは出していないが、資料4から概ね推測はできると思う。磯辺一中を小学校の統合場所とすることによる、いろいろな課題もこれから協議されていくと思われるので、必要があれば資料を示していきたい。また、磯辺二中区から磯辺一中への通学距離シミュレーションについては、高浜第二・第三小学校の統合を機に、ブリリアを含む現高浜二小区は高浜中学校区となるので、それを見込んで作成したものである。

<村上委員>

磯辺二小にエレベータを設置するということだが、ここだけ特別なのか。

<事務局>

身障者の入学が予想される学校には、随時設置するように進めている。また、真砂地区・高洲地区では、統合校の大規模改修の中に、学校施設のバリアフリー化の一環として、エレベータの設置を行う予定である。

<近藤委員>

統合場所を考えていくのに、企業庁の土地か千葉市の土地かを考える必要があるのか。また耐震補強も27年度までに終える計画のようだが、考慮する必要があるのか。

<事務局>

統合場所が企業庁の土地かどうかは考えずに決めていって良いと考える。また、耐震補強についても同様で、必要ならば統合校改修時に実施していくことになる。総合的に見て、考えていただきたい。

<磯辺四小代表>

磯辺四小の校舎は、耐震補強をする必要がない。仮に、磯辺四小が統合場所になったとしたら、仮校舎に1年間移動しなくてよいのか。

<事務局>

耐震補強をしなくても、壁や床などの大規模改修は必要である。先行事例として、高浜第二・第三小学校の統合では、耐震補強の必要がない高浜第三小学校が統合場所となった。但し、大規模改修をするので、いったん仮校舎（高浜第二小学校）に移動する予定で進めている。

<竹内委員>

磯辺二小にある濾過浄水器は移設するのか。

<事務局>

総合防災課が所管であり、濾過浄水器を残すのか移設するのか、改めて検討していくことになる。企業庁の土地でもあり、いろいろなことを考えて進めていくことになる。

<吉岡会長>

障害者がいる学校には、エレベータが設置されるのか。

<事務局>

統合校の大規模改修では、学校施設のバリアフリー化の一環として、エレベータの設置をしている。これからの学校施設については、子どもたちだけではなく、地域の方々との交流や身障者との触れ合いも考えて、整備していく方向で進めている。また、身障者が入る予定の学校にも設置する方向で進めている。真砂地区の真砂第二小学校にも、エレベータが設置されていて、特別支援の児童や骨折などの怪我をした児童などが実際に活用している。

<磯田委員>

磯辺二小のエレベータについては現在工事をしており、来年の3月31日に完成する予定である。

(3) 議題

議題1 シミュレーション4について

<鳥越議長>

次に、議題（1）「シミュレーション4について」。まず、前回の協議で「子どもたちが2度の統合を経験することを避ける必要があるかどうか」については、「避ける必要がある」という意見にまとまった。2つ目として、シミュレーション4がたたき台のままだと、そこから話が前に進まないため、「小学校統合をシミュレーション4でいくのか、いかないのか。修正案があるなら何があるのか」ということを決定し、そこから小中学校の統合時期や場所について検討することになった。意見を磯辺一小からお願いしたい。

<磯辺一小代表>

シミュレーション4で進めてほしい。

<磯田委員>

磯辺二小では、シミュレーション4で進めてよいかについてアンケートを実施した。家庭数123の内、22の賛成しかなかった。磯辺二小の意見は、中学校の統合を先に進めてほしいという意見が多い。磯辺二小は決して切羽詰まっている状況ではなく、学校でも手厚い教育を受けているので、保護者は満足している。協議会でよく検討し、進めてほしいという意見が多

く、92パーセントが急いでほしくないという意見である。また、中学校を先に統合してほしいという意見が多い。そこで、中学校の統合場所を磯辺一小にすることはできるのかどうか伺いたい。

<事務局>

小学校を中学校にするには、まず学校用地の問題がある。「千葉市宅地開発指導要綱指導基準」には、「確保する小学校用地は16,500㎡以上、中学校用地は23,100㎡以上とする。」とある。中学校用地としては23,100㎡以上が必要であり、千葉市の中学校は概ねこの基準をクリアしている。磯辺一小の校地面積は19,687㎡で足りない。また、国の法律である小学校設置基準や中学校設置基準、義務教育諸学校の施設費の国庫負担金等に関する法律施行令など、最低ラインの整備基準が示されている。それによると、小学校の特別教室は、理科室、生活科教室、音楽教室、図画工作教室、家庭教室、視聴覚教室、コンピュータ教室、図書室、特別活動室、教育相談室等である。一方、中学校には、それ以外に第2理科室、技術教室、外国語教室、進路資料・指導室等が必要となる。また、屋内運動場（体育館）の体育器具の高さ、プールの深さが違う。中学校のプールは、浅くして小学校仕様にできるが、小学校のプールは掘り下げる大規模な工事をして、中学校仕様にすることになる。中学校は武道場も必要である。給食室はいらないが、給食受取室が必要となる。いろいろな施設が必要となり、大は小を兼ねるが小は大を兼ねないといえる。

<磯田委員>

シミュレーション4以外の案としては、磯辺地区の小学校を2校とするのではなく、3校を残せないかという意見がある。磯辺二小を残してほしい理由をあげてみると

- ・病院通りを渡るのは大変危険である。特に、強風の日、雨の日は危険である。実際に歩いてみると、磯辺第一公園や磯辺一中前の交差点では、傘などが飛ばされそうになった。バスやトラックも多いので、右折や左折してくる車に巻き込まれる可能性もある。朝の通勤も混雑していて、特に自転車に乗る高校生が多く、スピードを出していて危険である。交差点では水たまりも多く、整備する必要がある。またビル風も強い。改善策を考えると、セーフティウォッチャーの見回り、歩道橋や歩行者分離式信号機の設置などが挙げられるが、4車線あるので非常に危険であると考え。仮に磯辺四小や磯辺一小へ通う場合、また磯辺一中または磯辺二小が統合場所となり磯辺四小や磯辺一小の児童がこちらに来る場合も、この交差点を使うので安全かどうか十分検討する必要がある。
- ・通学距離が低学年においては負担と考える。通学距離が長いと、途中でトイレがないと大変である。下校時間がかかると、習い事に間に合わない。
- ・三校が統合するとなると学区が広がり、行動範囲も広がるので、危険度が増す。
- ・磯辺二小のエレベータが来年3/31に完成される予定であり、車椅子で登校されている障害を持ったお子さんのためにも、せっかく設置してもらったのだから残していただきたいことがある。
- ・地域の方々は高齢化が進んでおり、磯辺二小を避難場所として確保してほしい。
- ・学校施設は地域の利用もしていて、便利である。
- ・若者が帰ってくる場所として、思い出のある学校を残しておいてほしい。
- ・学校の空き教室を利用して、保育所や老人福祉施設等に利用できることも考えられる。
- ・磯辺二小の運動場の水はけも大変よい。

この他に、いろいろな案を考えてみたが、まず大通りを渡ることは、マリーナストリートばかりでなく、病院通りも危険である。そういう中で、すべての学校が一度自分の学校を手放してみて、納得できる案はないか考えた中では、磯辺一中に磯辺一・二小、磯辺二中に磯辺三・四小、そして磯辺一小を中学校の統合場所にという案がよいのではないかという意見があった。

磯辺二小の児童に聞いてみたが、統合を望んでいる児童はほとんどいない。「学校がなくなるのは寂しい。絶対になくならないでほしい。」という意見が多かった。統合となると、環境の変

化からくる精神的なストレスが多くなると考える。通学負担などのストレスも出てくる。

<竹内委員>

小学校の統合は、シミュレーション4でよいと思う。(いたしかたない。) 中学校の統合については、総論は賛成、各論は反対となるだろう。統合そのものは賛同を得ている。個人的な意見としては、真ん中となる磯辺一小を中学校の統合場所とするのがよいと考える。先ほども、事務局より、小学校を中学校にするのは難しいとあったが、磯辺一小をベースにして、少し敷地を広げてもらうなど、具体的に検討していく中で考えていけないか。如何ともし難い状況であれば、納得してもらうしかないが。

<磯辺四小代表>

磯辺四小はシミュレーション4で進めてもらいたいという意見が多い。

<吉田みどり委員>

シミュレーション4でよい。

<橋爪委員>

基本的に賛成である。

<鬼塚委員>

特にない。

<池上委員>

シミュレーション4でよい。

<高橋委員>

特にない。磯辺四小の考えと同じである

<近藤委員>

統合を考えると、シミュレーション4となる。

<安達委員>

シミュレーション4でいくしかないと考える。

<山崎委員>

小学校についてはシミュレーション4でよい。

<古田委員>

シミュレーション4については、平成20年から議論が交わされてきたことであり、バランス的にはこれでよいという意見が多いし、私も賛成である。

<関委員>

シミュレーション4で賛成である。

<大浦委員>

シミュレーション4でよい。

<藤岡委員>

シミュレーション4でよい。また、先ほど磯辺二小から出された歩行者分離式信号機については、逆に危険であると思う。いろいろ見ていると、通勤時など大人は待つことができずに渡ってしまう。子どもも真似するので、危険である。

<村上委員>

基本的にはシミュレーション4でよい。磯田委員（磯辺二小）の発言内容を考慮して、安全性を踏まえて、小学校を2つ残すとしたら、学区を検討し、どういう風に分けたらよいのか考えることが必要である。

<事務局>

シミュレーション4がよいという意見がほとんどであるが、磯辺二小では、現状のまま存続したいという意見が多いようである。資料2のシミュレーション4の統合を進める段階で、今のケースを踏まえた場合、パターン1をとってC校を磯辺二小と考え、統合場所の大規模改修後または現状のまましばらく存続し様子を見ながら、最終的に一緒になることが考えられる。ただ磯辺二小がどうしても単独で残りたいというのであれば、磯辺一小・四小の統合を進める

しかない。

<別所副会長>

磯辺二小以外は、全員シミュレーション4に賛成である。磯辺二小の意見を聞いていると、この協議会の最初の段階にもどった感じがする。小規模校と適正規模校との違い、第一次適正配置では、磯辺二小と磯辺四小を統合した場合、将来的にも再び小規模校になってしまうということで、磯辺地区全体で考える必要があるとし、第二次の取り組みに至った経緯がある。現在も磯辺二小は小規模校になっているが、それでもよいという意見が出てきていることになる。

<磯田委員>

統合に関しては、その方向で進んでいたが、磯辺一中に小中一貫教育校を設置することを想定していた。これが現状では難しいため、3校を残してもらった方がよいという考えになってしまった。

<竹内氏>

シミュレーション4をいったん白紙にして考えたということだと思う。

<高橋委員>

その考えでいくと、今までの議論はいったい何だったのかということになる。磯辺二小は統合をマイナスの面ばかり挙げて考えているが、メリットがあるから統合に向けて進んできたということを理解していただきたい。

<竹内委員>

協議会の議事要旨をみればわかると思うが、磯辺二小の疑問は、今までの協議会で事務局が答えてきたことである。今までの議論を整理して、一目でわかるものにまとめてもらえると、それを見て解決することができると思う。磯辺二小の保護者も心配があつて、いろいろなことを考えてしまうと思う。事務局に一覧表を作成してもらえれば、保護者や地域住民に対しては今まで出てきた質問は、もう出てこないと思う。

<村上委員>

シミュレーション4は理解している。磯辺二小としては、様子を見て考えたいということであるので、ステップを踏んで、もう少し固まるまで見てから、基本的に統合する方向でいってみてはどうか。

<石塚副会長>

磯辺二小の保護者の皆さんは、学校の先生方からいろいろな意見を聞いてみるとよいと思う。磯辺一小では、小規模校で音楽専科がいなく、私は現在ボランティアで音楽を教えている。いろいろ聞いたり見たりする中で、小規模校で単学級だと学年の活動や仕事を一人ではまかなえきれないようである。学級数が多くなると、学年の先生方も増え、役割を分担したり複数で対応したりすることができ、子どもたちにとってもより良い教育環境となる。中学校でも、部活動の問題が大きい。部活の担当も少なく、一人の先生への負担も大きい。先生方が、本当にどう考えているのかという意見も聞いてみるとよい。

<竹内委員>

聞きたい気持ちはあるが、学校の先生方を巻き込んではいけないと思っていた。

<石塚副会長>

教育の現場で困っていることがあれば聞いてもらって、この場に出してもよいと思う。

<大浦委員>

通学路の問題は必ず出てくる。どこの場所にしても、エゴが出たり、危険だと考えてしまう。磯辺二小の保護者に対して、もう一度、説明を行う必要があるのではないかと考える。これはどこの学校も同じ考えをもっていると思う。

磯辺二小の場合、案をもっているなので、どうしてもだめだとあれば、3校とするしかないと考える。場所は決まっていない。中間点を押ししかないと思う。ロケーションの問題は、最終的に大変になるとは思っていた。小学校の場合、中間的な場所として通学区域のまん中、中学

校の場合は環境の良い方で考えていくとよいだろう。

<鳥越議長>

少し話が変わるが、今、美浜区で安全会議を立ち上げている。11/9に発足し、交通安全、防犯の2つの会議を行っている。磯辺地元委員9名以外に、消防署、警察署、公園緑地、ごみ処理の関係機関などの担当が集まり、美浜区役所も参加するなど総勢17名で構成している。今月11月末までに、どこの地域が危険か調査を行うことになっている。やったものに対して、周りにアピールしていこうという趣旨で会議を行っている。例えば、歩道を自転車が行くことにより、車道に歩行者が出るような危険なこともあるだろう。今のところ、希望的観測だが、子どもたちの交通安全にも役立つのではないかと考えている。

<事務局>

全体として、磯辺二小以外はシミュレーション4に賛成という意見であった。そこで、先行して2校の統合を進めていき、様子を見ながら後で磯辺二小が入るという方向性でいくのか。あるいは、最初から磯辺二小を残して統合には入れないのかというどちらかになると考える。どちらにしても、磯辺二小の考えによるだろう。

<鳥越議長>

資料2のシミュレーション4のパターン1ということか。

<事務局>

その通りである。パターン1でA校・B校は磯辺一小と四小、C校が磯辺二小となる。シミュレーション4をとると、最終的に磯辺二小も入ることになる。磯辺一・四小の統合を進め、大規模改修を終えて統合校が出来上がった段階で、磯辺二小も入るのか。もう少し時間が経ってから、統合校に吸収されるのか。あるいは、ずっと残しておくのか。

<高橋委員>

磯辺二小の父母と教師の会代表が、今この場で決めたり、選択したりすることはできないであろう。

<事務局>

もちろん、持ち帰って検討していただくことがよいだろう。

<大浦委員>

磯辺二小は、前のアンケートでは賛成であったのではないか。

<事務局>

前年度のアンケートでは、小学校の統合に賛成及び協議会の意向を尊重する人が72%いたが、反対する人も25%いて、他の学校よりは割合が高かった。

<磯田委員>

今までのお話にあったように、磯辺二小が独立して残るのか、パターン1として様子をみながら統合するのかという意見を持ち帰って、もう一度話し合いたいと考える。

<磯辺四小代表>

先ほど石塚副会長からもあったように、小規模校では先生方の負担が大きい。磯辺四小でも陸上大会に向けての練習など、少ない先生方で教えるのは大変のようである。また、6年間同じクラスだと中学校に行った時、新しい友だちが作れない。高校でも然りである。小学校の時に、小規模であるのが問題である。小学校は、各学年複数の学級の方がよい。私自身も、子どもが小学校、中学校と上がる中で、実感している。

<山崎委員>

通学路における問題が出ているが、小学校の統合場所を磯辺一中にすればよいと考える。

<別所副会長>

それはどっちかが行き来することになるわけだから、問題は生じることになる。

<山崎委員>

磯辺一中を統合場所とすると、どこからも同じ距離となる。

<吉田みどり委員>

磯辺一中は、校地面積が広い。市内でも7番目に広い。テニスコートも4面あるなど、かなり良い環境といえる。小学校の統合場所にするのはよいかも知れないが、磯辺一中の生徒が、今よりも狭い所に行くことになり、メリットが1つ減ってしまうことになる。中学校は、やはり中学校同士で考えていきたい。

<事務局>

中学校を小学校にするには、小学校と中学校を同時に統合するか、中学校を先に統合しないとできないことになる。磯辺一中を小学校の統合場所とした場合、一中が空かないと改修できない。仮に磯辺二中を統合場所とした場合、仮校舎は磯辺一中となる。中学校が仮校舎を出ていってから、改修工事をして小学校が使えるようになるので、時間がかかる。また、中学校の統合は慎重に進めるという意見もあるので、かなりハードルが高いといえる。

<鳥越議長>

本来、統合の時期や場所を決めないといけない時期であるが、シミュレーション4のパターン1とするか3校を残すか、今日のところは磯辺二小に持ち帰っていただくことにする。磯辺二小は、次回の会議までに取りまとめをして、その結果を報告していただきたい。

議題2 次回開催日時・場所について

<鳥越議長>

次回の開催日時・場所を決めたい。次回は来年1月17日、月曜日の午前10時から12時まで、会場は磯辺地域ルームとしたいと思うが、いかがか。(異議なし)

他になければ、これで議事をすべて終了する。

(4) 諸連絡

<事務局>

○議事要旨の確認について、今までどおり、案を送るので確認をお願いしたい。

○次回協議会を欠席する場合は、事務局へ電話をお願いしたい。代理を立てる場合は、然るべき立場の方を立て、事務局へ連絡をお願いしたい。

(5) 閉会

<吉岡会長>

長時間の協議に感謝したい。子どもたちに質の高い教育を受けさせることが目的であり、安全も大切であるが、より質のアップを考えて話し合っていきたい。いつも言っていることだが、小異を捨てて大同に就く、本当に何が大切かを考えていただき、子どもたちのことをよく考えて議論していただきたい。今後ともよろしくをお願いしたい。